

発行所
CHALLENGE 70
日報ビジネス株式会社
Vision Vitality Victory
〈東京〉〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話03(3262)3463 FAX03(5276)4431
〈大阪〉〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2402 FAX06(6265)7127

1月23日 No.3061
-----2023年(令和5年)-----
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
昭和41年9月22日 第3種郵便物承認
購読料 年間 23,900円+税
(定価) 1部本体 509円+税

包装タイムズ

THE HOSO TIMES

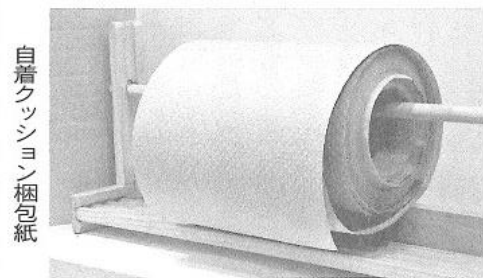
小林

テープ要らずの紙梱包材

紙化需要に向けてアプローチ

紙製梱包資材や感熱 プラを志向する企業に 2では、テープやのり 紙など、紙の加工販売 に向けた紙製品の訴求に のいらぬ紙梱包材「自 を行う小林(東京都台 取り組んでいる。昨年 着クッション梱包紙」 東区、〒03・583 10月に開催されたTO などを展示。梱包資材 3・5884)は、脱 KYOPACK202 の紙化を検討する来場 者に向けたアプローチ を行った。

同製品はエンボス加工を施したクラフト紙に、自着性を持つのりを塗布した紙梱包資材だ。糊面同士を圧着することで簡単に接着できるため、テープなどが必要ない。クッション性もあるため、手軽な梱包ができる。使用後の廃棄も容易だ。展示会の後、同製品の脱プラとして注目が高まっているという。



自着クッション梱包紙

城處氏は、紙化の流れについて「検討する企業の多くはコスト高を織り込み済み」と分析する。環境に配慮した製品に耳目が集まっている社会情勢を受け、ある程度のコストは許容される傾向にあるのでは、と語った。

の反響は非常に大きかった。想定を超える問い合わせに、同社の城處剛氏は嬉しい悲鳴だったと語る。「参考出展にもかかわらず、20件を超える引き合いがあった」とし、紙化への注目が高まっている現状への認識をさらに深めたという。

同社では同製品を機械用、手作業用、さらに小売したいというニーズにも応えた平版などを含めて開発を進めている。今年春の上市を目指し、さらなる改良に取り組んでいる。

また、同展示会では紙緩衝材「クッションペーパー」も展示された。エンドユーザーに直接届く外装資材でできる脱プラとして注目が